

ヤングケアラーの ためにできること

家族のあり方や社会構造の変化の中で、家族の構成員として不足する役割を担う子どもたちがいる。
子どもが困ったときにサポートできるように、見守り、共感を含めた幅広い支援が必要になっている。

子どもの想いを支えることで、地域がつながり、支え合える社会につながる。

子どもが自分の夢に向かって生きられるように、何から始めたらいいだろう。

ヤングケアラーのためにできることについて学ぶ。

令和6年

2月17日 土 14:00~16:30

参加無料

事前登録制



第1部 14:10~ ヤングケアラーに光を

ヤングケアラーに光を~十八歳からの十年介護~

フリーアナウンサー・元ヤングケアラー

町 亞聖 氏

第2部 15:10~ 学習支援を入り口にしたヤングケアラー支援

ヤングケアラーの実態とその支援

~学習支援13年で子どもたちから学んだこと~

一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク 理事

土屋 匠宇三 氏



場所 きゅりあん 第一特別講習室 (品川区立総合区民会館)

東京都品川区東大井5-18-1 大井町駅から徒歩1分

会場とオンライン (Zoom) のハイブリット開催 事前登録制 定員各50名 (会場は先着順)

申し込み〆切 令和6年2月10日 土

対象者
区民全般 興味ある方どなたでも

申込フォーム・電話にて申し込み可 / 申し込み詳細は裏面へ

問い合わせ

〒140-0003 品川区八潮5-1-1 品川総合福祉センター地域福祉課宛て

☎ 03-3790-4839 ✉ chifuku.kouza@gmail.com

講師プロフィール



まち あせい フリーアナウンサー
町 亞聖 元ヤングケアラー

町 亞聖公式ブログ



小学生の頃からアナウンサーに憧れ 1995 年に日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、活躍の場を報道局に移し、報道キャスター、厚生労働省担当記者としてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを取材。

“生涯現役アナウンサー” であるために 2011 年にフリーに転身。脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした 10 年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」(小学館文庫) を出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動を続ける。直近では念願だった東京 2020 パラリンピックを取材。



つちや しょうぞう 一般社団法人
土屋 匠宇三 彩の国子ども・若者支援ネットワーク理事

学習支援事業 アスポート



生活困窮世帯の子どもを対象にした学習支援事業「アスポート」を受託。(一社) 彩の国子ども・若者支援ネットワーク代表理事、大東文化大学非常勤講師。

埼玉大学大学院生時代にアスポートのボランティアを始め、2013 年から学習支援員として勤務。2020 年から代表理事を務める。NHK の特番などに出演、新聞・TV 等の取材多数。

2022 年度より上尾市子ども・子育て会議委員、埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会委員、2023 年度より埼玉県地域福祉推進委員に就任。

申込
方法

下記 QR コードからお申し込み下さい▼

URL : <https://x.gd/JA8bt>

- ご予約時のメールアドレス宛に当日用の URL とパスワードを記載したご案内メールをお送りいたします。
- メールアドレスを間違えますとご案内が正しく送られない場合があります。
- 迷惑メール設定をされている方はこちらからのメールが届くように設定ください。

電話でのお申込みも可能です。☎ 03-3790-4839



社会福祉法人 品川総合福祉センターでは…

<https://www.shinafuku.com/>

児童から高齢者まで、在宅支援から施設支援まで、支援の必要な区民の方のサポートを行っています。また、地域のニーズに合わせ地域貢献や福祉啓発、福祉教育に取り組んでいます。